

WEB申請システム 操作マニュアル

エラー等 Q&A集



株式会社 仙台都市整備センター

目次

1.システム起動時のエラー	P.3
アプリケーションを起動できませんでした	P.3
アプリケーションの実行-セキュリティの警告	P.4
エラーは表示されない	P.5
2.PDF 作成時のエラー	P.14
エラーが発生しました	P.14
3.Excel 作成時のエラー	P.16
エラーが発生しました	P.16
4.物件が消えた	P.17
5. 電子署名が付与されない	P.19

1.システム起動時のエラー

エラー表示

【アプリケーションを起動できませんでした。】

アプリケーションを起動できません。アプリケーションのベンダーに問い合わせてください。

・原因

ClickOnce *1 (クリックワンス)のキャッシュ*2 が影響を及ぼしている。

• 対応方法

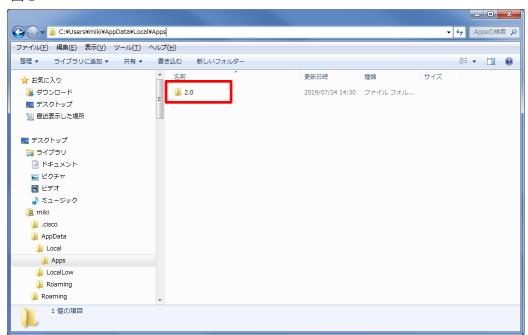
下記の手順にて ClickOnce のキャッシュを削除する。

※削除の操作は十分確認しながら実行してください。

システム操作に不慣れな方は、PC のスキルがある方に実行してもらってください。

1) エクスプローラで「%AppData%¥..¥Local¥Apps¥」フォルダを開く。(図1) フォルダ内の「2.0」フォルダを削除後、WEB申請システムを起動。

図 1



※1: WEB ページのリンクをクリックするだけでアプリケーションの実行が行われる機能。

※2: 再度同じページを開いた場合に速やかに表示させることができる。 キャッシュが溜まりすぎると他の動作に影響を及ぼすことがある。

・エラー表示

【アプリケーションの実行-セキュリティの警告】

コンピューターにセキュリティ上の問題を発生させるため、管理者がこのアプリケーションをブロックしました。

• 原因

Windows Update 後に見られる現象。 許可されていた WEB 申請用の証明書が許可から外れてしまった。

• 対応方法

- 1) エラー表示警告文の下部に表示されている「公開元 (P):」に記載されている ESSENZ JAPAN Co..Led.をクリック。
- 2) 証明書の画面が表示されますので、下部の「証明書のインストール」をクリック。
- 3)「証明書のインポートウィザード」画面が起動。「次へ」をクリック。
- 4)表示された画面で「証明書をすべて次のストアに配置する」にチェックを入れる。
- 5) 画面右の「参照」をクリック。
- 6)「証明書ストアの選択」画面で「信頼された発行元」を選択し「OK」をクリック。
- 7) 完了画面が表示されますので、「完了」をクリック。
- 8) 画面を閉じ、WEB申請システムを起動。

•エラー表示

エラーは表示されない。 ログイン ID・パスワードを入力し、「ログイン」をクリックしても何も起動しない。

・原因 A1

.net がインストールされていない。

・原因 B1

ClickOnce がインストールされていない。

・原因 C1

Internet Explorer で WEB 申請システムの起動がブロックされている。

- 対応方法(原因 A1) .net がインストールされていない。
 以下の手順で Microsoft.NET Framework 4.7.2 をインストール。
 インストール完了後、WEB 申請システムを起動。
 - 1) Microsoft.NET Framework 4.7.2 のインストール(図A 1 1) http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=863262

図A1-1



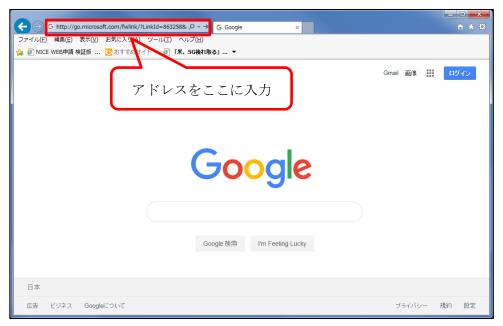
「Download.microsoft.com から NDP472-KB4054531-Web.exe を実行または保存しますか?」と表示。 (図A1-2)「実行」をクリック。

図A1-2



※セキュリティソフトの制御等により、インストールを許可するかの BOX が表示される場合があります。 その際は、「はい」等をクリックしてインストールを実行してください。 2) Microsoft.NET Framework 4.7.2 日本語パック(図A 1 - 3) http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=863258&clcid=0x411

図A 1 - 3



「Download.microsoft.com から ndp472-kb4054530-x86-x64-allos-jpn.exe を実行または保存しますか?」 と表示。(図A1-4) 「実行」をクリック。

図A1-4



※セキュリティソフトの制御等により、インストールを許可するかの BOX が表示される場合があります。 その際は、「はい」等をクリックしてインストールを実行してください。

WEB申請システムを起動。

対応方法(原因 B1) ClickOnce がインストールされていない。WEBシステム画面の「システムを起動」ボタンの下部に表示されているバナーをクリック。(図 B 1 - 1)

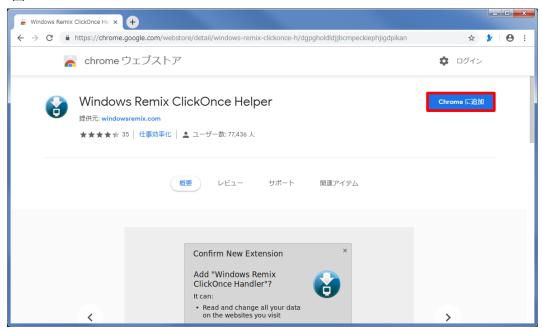
図B1-1



Google Chrome クリック時

ページ右上の「Chrome に追加」をクリック。 (図B 2-1)

図B2-1



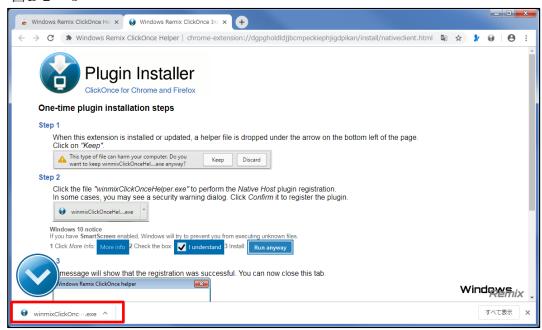
「Windows Remix ClickOnce Helper」を追加しますか?の画面が表示。(図 B 2-2) 「拡張機能を追加」をクリック。

図B2-2



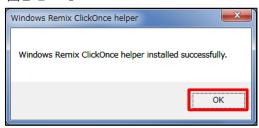
Windows Remix ClickOnce Installation の画面が表示。(図B 2-3) 画面左下の「WinmixClickOnceHelper -v1.4.0.0.exe」をクリック。

図B2-3



インストールが完了。「OK」をクリック。(図B2-4)

図B2-4

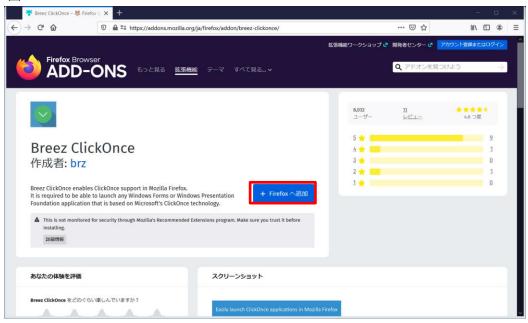


WEB申請システムを起動。

Firefox クリック時

ページ左側の「Firefox へ追加」をクリック。(図B3-1)

図B3-1



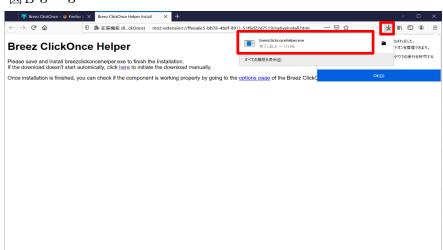
しばらくすると「Breez ClickOnce を追加しますか?」の画面が表示。(図B 3-2)「追加」をクリック。

図B3-2



※セキュリティソフトの制御等により、インストールを許可するかのBOXが表示される場合があります。その際は、「はい」等をクリックしてインストールを実行してください。

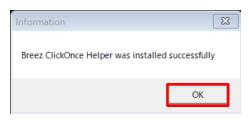
図B3 - 3



※セキュリティソフトの制御等により、インストールを許可するかのBOXが表示される場合があります。 その際は、「はい」等をクリックしてインストールを実行してください。

インストールが完了。「OK」をクリック。(図B3-4)

図B3-4



WEB申請システムを起動。

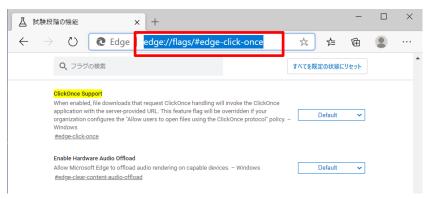
Microsoft Edge の場合

※Windows 10 で Microsoft Edge (Ver 79.0 以降)をご利用の場合に限ります。

※Windows 7 での Microsoft Edge (Ver 79.0 以降)はご使用になれません。

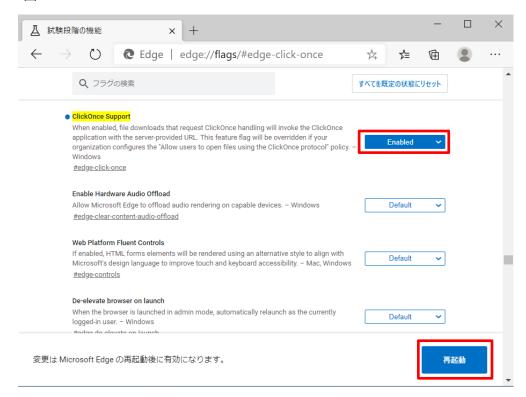
Microsoft Edge のアドレスバーに"edge://flags/#edge-click-once"と入力して Enter を押します。(図B4-1)

図B4-1



ClickOnce Support 欄の右側のドロップダウンリストから「Enabled」を選択し、再起動します。(図B4-2)

図B4-2

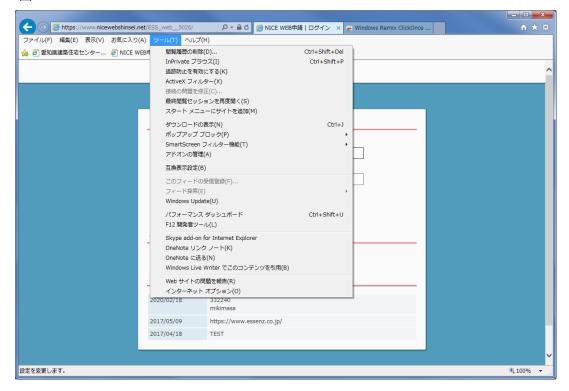


もう一度、NICE WEB 申請システムへ接続

・対応方法(原因C1)Internet Explorer で WEB 申請システムの起動がブロックされている。 信頼済みサイトとして登録する。

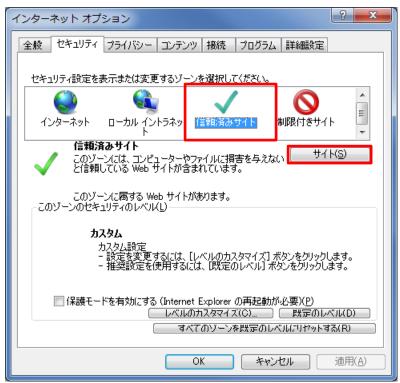
WEB申請画面を開き「ツール」・「インターネットオプション」をクリック。(図С1-1)

図C1-1



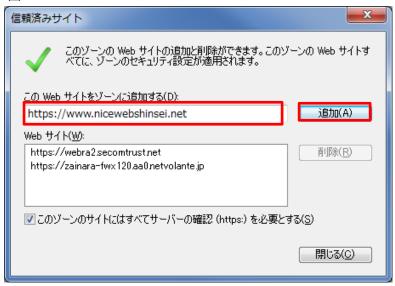
インターネットオプション画面より「セキュリティ」タブをクリック。(図C1-2)「信頼済みサイト」をクリック後、「サイト」をクリック。

図C1-2



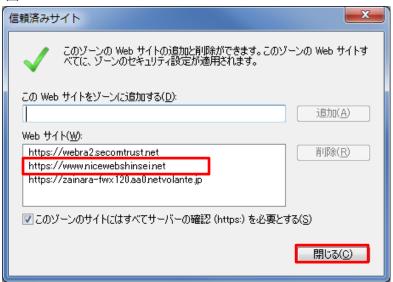
信頼済みサイト画面より「このWebサイトをゾーンに追加する」部分に WEB申請の URL が表示されていることを確認後、「追加」をクリック。(図C1-3)

図C1-3



「WEBサイト」部分に登録されたことを確認後、「閉じる」をクリック。(図C1-4)

図C1-4



WEB申請システムを起動。

2. PDF作成時のエラー

・エラー表示

【エラーが発生しました。】

·原因A

複数の Ver.の Office がインストールされている。 例) Excel2013、Word2016 等

· 原因 B

Excel がインストールされていない。 もしくは、Excel の Ver.が古い。(PDF 作成機能が無い 2003 等)

・原因 C

Office が破損している。

・原因D

原因A、B、C以外

- 対応方法(原因 A) 複数の Ver.の Office がインストールされている。
 「コントロールパネル」から「アプリ」をクリックし「アプリと機能」を開く。
 アプリー覧で Office や Word 等の Ver.を確認し、Excel と異なる Ver.の Office や Word 等をアンインストール
- 対応方法(原因 B) Excel がインストールされていない。もしくは、Excel の Ver.が古い。
 Excel をインストール。
 Excel の Ver.が古い場合は、WEB 申請システムの動作環境に記載している Ver.の Excel をインストール。
- 対応方法(原因C)Office が破損している。
 原因A・B以外の場合は、Office が破損しているかも知れません。
 以下のURLからOfficeの修復を行うのも手段のひとつです。

 $\frac{\text{https://support.office.com/ja-jp/article/Office-\%E3\%82\%A2\%E3\%83\%97\%E3\%83\%AA\%E3\%82\%B1\%E3\%883\%82\%B1\%E3\%883\%B2\%E3\%82\%B7\%E3\%83\%A7\%E3\%83\%B3\%E3\%82\%92\%E4\%BF\%AE\%E5\%BE\%A9\%E3\%81\%99\%E3\%82\%8B-7821d4b6-7c1d-4205-aa0e-a6b40c5bb88b$

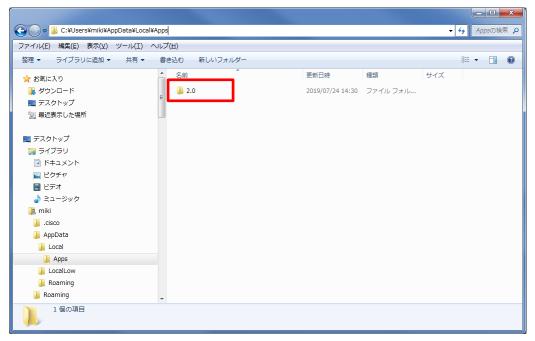
・対応方法 (原因 D) 原因 A、B、C以外

原因 A・B・C 以外の場合は、キャッシュを削除すると解消するかも知れません。 ※削除の操作は十分確認しながら実行してください。

システム操作に不慣れな方は、PC のスキルがある方に実行してもらってください。

1) エクスプローラで「%AppData%¥..¥Local¥Apps¥」フォルダを開く。(図1) フォルダ内の「2.0」フォルダを削除後、WEB申請システムを起動。

図1



3.Excel 作成時のエラー

・エラー表示

【エラーが発生しました。】

・原因

Excel がインストールされていない。もしくは、Excel の Ver.が古い。

• 対応方法

Excel をインストール。

Excel の Ver.が古い場合は、WEB 申請システムの動作環境に記載している Ver.の Excel をインストール。

4.物件が消えた

・物件一覧画面から物件が消えた ※物件削除は行っていない。

•原因

物件を「非表示」に設定した。

• 対応方法

下記の手順にて物件の「非表示」設定を解除する。

1)物件一覧画面の「検索条件」の横にある「表示する」をクリック。(図1)

図 1



2)検索条件が表示。 検索条件の下部にある「非表示物件のみ」にチェックを入れ、「検索」ボタンをクリック。(図2)

図 2



3) 非表示設定されている物件が表示。 表示させたい物件をクリックし、「表示」をクリック。(図3)

図3



5.電子署名が付与されない

電子署名付与は、「セコムトラストシステムズ株式会社」が提供する「セコムあんしんエコ文書サービス」の機能を利用しております。

通常は、電子署名を実行後、2~3日で電子署名が付与されます。 PDF 作成ソフトによっては、正常に電子署名が付与されない場合がございます。 その際は、機関にご連絡を頂けます様お願い致します。